

児童発達支援事業所

2025. 9 月号



Eメール koroiba_mori@basil.ocn.ne.jp
ホームページ <https://minnanomori.jp/>

保護者勉強会へのご参加、ありがとうございました

根洗学園の園長、松本知子先生から「子どもの特性と関わり方」についてお話を頂きました。

自己紹介では保護者の方が子ども時代に好きだった遊びを一言ずつ発表していきました。普段は子どもの話が中心でなかなか保護者の方のを知る機会がなかったので、皆さんがどのようなことに夢中になって過ごしてきたのかを知ることが出来て新たな発見もありました。

松本先生が関わってきた子どもの話や保護者との関係性など様々な話をしてくださったり、事前に頂いたお悩み相談にも丁寧に返答をしてくださいました。子どものことを愛する気持ち故に心配事も多いかと思いますが、子どもが五感を使って夢中になれる遊びをたくさん体験したり、色々な人と出会って関わる体験が子どもの育ちのベースとなっていくということでした。

日々の療育では、子どもが夢中になれる経験を思い切り出来るような遊びを子どもと一緒に作っていき、ありのままの姿を認め受けとめてもらえる安心感のある関係づくりをしていきたいと思います。

※詳しくは「子どもの特徴と望ましい関わり方について」をご覧ください。



プランター菜園でたくさん収穫出来ました！！

みんなで育てた夏野菜がたくさん収穫できています。実がなったトマトは、後は赤くなるのを待つだけ！楽しみにしていましたが、ある日登園した子どもが「トマトがないよ」とすぐに気付きました。みんなで見ると何かにかじられた跡が…。「誰が食べたの？」「〇〇なんじゃない？」と想像が膨らみます。結局、トマトは次の時も食べられてしまい一つも収穫することはできませんでしたが、オクラときゅうりは大量でした。叩きキュウリや塩もみ、オクラのおかか和えなどを作り食べてきました。野菜が苦手な子も自分で作ったからか口にしたり、隣のクラスや職員におすそ分けをしたりしました。たいようクラスの子も包丁で切る経験をしています。是非お家でも子どもと一緒に作ってみてください。



☀️たいよう☀️

< プールを終えて >

今年は気温の高い日が続き、長い期間プールに入ることができました。例年8月31日がプール納めですが、今年は9月まで延長します。たいようの子どもたちも、まつのき保育園の大きなプールで楽しく泳いでいます。始めは顔に少し水がかかるだけで気になってしまい、ゴシゴシと水をぬぐっていた子も、8月の終わりになり「ちょっと泳いでみようかな」と言い、水に浮かんでワニ泳ぎをしました。鼻に水が入るかもしれない、バランスを崩して沈んでしまうかもしれない、いろいろな不安があったと思いますが、表情からは「ぼく泳げる」という強い意志が見えました。ゆっくり自分のペースで、プールの中をワニ泳ぎしました。焦らず待っていれば、自分のタイミングで一步踏み出すことができるんだなと実感した出来事でした。

< 水道屋さんごっこ >

ころころの新しいおもちゃで、伸びたり縮んだりするチューブのおもちゃがあります。人気のおもちゃではありますが、一体どうやって遊ぶのだろうと思っていました。始めは伸ばしたチューブを糸電話のようにして遊んでいた子どもたちですが、ままごと用のキッチンの蛇口に取り付けた子がいました。担任が「水道屋さんですか？修理をお願いします」と言うと、ごっこ遊びのイメージが一気に広がって、キッチン下に潜りこんで排水管の工事を始めました。真剣な表情で修理をしている姿が可愛らしかったです。大人には思いつかない発想に驚きも感じました。

☆ほし☆

< 色水あそび >

ころころ中庭のプランターでは、野菜以外に朝顔も育てています。朝顔が咲き始め、しおれたところを見計らって、色水遊びを行いました。

保育者が色水の作り方の説明をしようかな？と思っていたところに、A君が「僕、色水の作り方知ってるよ」と来てくれました。朝顔の花をちぎって、少し水に浸し水の入ったペットボトルに入れて振ります。みるみるうちに色水がでていく様子にAくんも「ね、出来たでしょ」得意顔でした。Bくんは大きなタライで色水を作っています。花びらは入れているのですが、水が多くて中々色が変わりません。Bくんは「ねー色水できないよ」と不満顔です。保育者も手伝うと、Bくんもあきらめずに花びらをもんだり、お玉でかき混ぜたりしていました。すると少しずつですが、色水がでてきたのです。「出来た！」と言って、ペットボトルに出来た色水を入れるBくん、とても晴れやかな顔をしていました。

Cくんは当初色水遊びには興味がありませんでした。水鉄砲で遊んでいた時のことです。Cくんが、朝顔をちぎってペットボトルの中に入れようとしていました。思わず「何やってるの」と言いそうになりましたが、CくんはAくんの教えてくれた、ペットボトルで作る色水の作り方を覚えていたのでしょう。やってみたいと思ったタイミングが、先日ではなくこの日だったのです。「色水やりたかった？」と聞く保育者に「やりたかったー」と言うDくん。この日は時間もなかったので、後日必ず色水遊びを行うことを約束しました。登園したDくん「今日、Dくんがやりたいて言っていた色水やるよ」と言うと、にこにこ顔のDくん、色水を作り、お玉でカップにすくって並べて楽しんでいました。

興味がないように見えても、友だちがやっていることは心に残っているのでしょう。子どもの行為にはいつも理由があります。なぜ子どもがそのようなことをしたのか？を考えながら、これからも子ども達と関わっていきたいと思います。